

令和元年7月3日

オリンピック開催1年前！ 小学生等が会場入口の道路を花で彩ります。 『道で咲かせよう東北の花プロジェクト～復興五輪版～』

『道で咲かせよう東北の花プロジェクト～復興五輪版～』は、東京2020オリンピックにおいて、野球・ソフトボール会場となる「あづま球場」へのアクセス道路の一部を県民が育てた花で彩る取組です。

本取組は、潤いある道路空間を創出するとともに、復興支援への「感謝」や地元開催のオリンピックに自らに関わる喜びを感じてもらうなど、オリンピック・パラリンピック開催に対する機運醸成を目的としています。

この度、東京都道路整備保全公社から資材の提供を受け、球場周辺の小学生や地域住民等が4月から育ててきた約2,800の花苗及び県いわき建設事務所をはじめ、いわき市内の各団体が育てた約800の花苗を小学生等と一緒に県道上名倉飯坂伊達線(フルーツライン)のあづま総合運動公園入口交差点へ移植します。

東日本大震災からの復興を発信するとともに、1年後に迫ったオリンピックの開催を盛り上げていきます。

【開催概要】

1. 日 時 令和元年7月5日(金) 13:30～14:15
2. 実施場所 あづま総合運動公園入口交差点 ※別紙参照
3. 参加者 荒井小、佐倉小、佐原小、水保小の6年生等約90名、球場周辺自治会等約30名、合計120名
4. 内 容 小学生等が種から育てた花苗を道路の植樹帯へ植える
5. 主催者 福島県県北建設事務所
6. その他 ①取材の方はあづま総合運動公園駐車場(別紙)を御利用ください。
②雨天中止。※中止時はあらためてお知らせします。
③本プロジェクトには、福島市内の22団体、約400名。いわき市内の9団体、約150名が参加しています。

お問い合わせ先

県北建設事務所 主幹兼企画管理部長 外川泰司

電話 024-521-2509 (内線 4620) FAX 024-521-2848

花植え場所及び駐車場位置図

